

## 攻めの施策【柱2：ライフスタイル】

「生きるを楽しむ・上質な田舎」といった西粟倉村らしい豊かな暮らしを支えるため、日々の生活の基盤となる子育てや住まいへの支援に注力します。

また、「暮らし」ではなく「ライフスタイル」としているのは、自然もあり多様な人材がいる村の特徴を活かして、健康づくり・スポーツ・文化といった、生活に豊かさをもたらす生涯にわたる学びの環境を提供したいという思いからきています。

### ▶ 施策内容

- 1、子育て支援
  - (1) 経済的支援の充実
  - (2) サービスの充実
- 2、多様な住まいの確保
  - (1) 住宅の確保
  - (2) 空き家利活用
- 3、生涯学習
  - (1) 生涯学習の推進
  - (2) 健康づくり・スポーツ・文化振興

### ▶ 施策を進めていく上でのポイント

- 妊娠出産育児期におけるニーズに応じた切れ目のない支援の提供
- 計画的な住宅整備と空き家の有効活用
- 小さな村でも色々できる・学べる環境づくり

### ▶ KPI（目標とする指標）

『生活環境や仕事以外の日々の暮らしが豊か（楽しい）と感じる方の割合』

柱2：ライフスタイルを象徴する指標として、毎年度のアンケートにて状況を把握します。そして、前年度より少しでも数値が上がるように各施策を進めていきます。

なお、アンケートにおいて感じないと回答された方は、その理由も把握するなど、個別の施策の状況に対する村民の捉え方も把握していくことを想定しています。

# 1、子育て支援

## (1)経済的支援の充実

<b>【次の5年のコンセプト】</b>
<b>ニーズに応じた支援を提供する</b>

### ➤ 施策の方向性

#### ①支援メニューの充実

保育料の減免・無償化など国の制度を活用した支援に加えて、高校までの子どもの医療費無料・高校就学支援金などの村独自の支援も行っています。これからも、子育てをしている方のニーズを踏まえながら、支援の内容や方法を充実させていきます。

#### ②ニーズに応じた支援の検討

小さな自治体の限りある財源の中において、ニーズ把握や他自治体の情報収集・支援内容比較を行い、子育てをしている方の状況と他自治体の状況を踏まえた支援を検討していきます。

### ➤ 目標・行動指標

行動指標：村独自の支援施策の実施（1つ以上）

設定理由など：限られた予算での新たな支援はハードルが高いですが、村外企業からの支援を受けるなど工夫しながら支援を充実させていきます。

R8	R9	R10	R11	R12
情報収集・内容検討	施策実施	施策内容の見直し、新たな施策の検討		

### ➤ 村民意見のまとめ

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学支援金が助かる</li> <li>・ 給食の食材費などで負担がかからない工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校進学にお金がかかる（通学・下宿）</li> <li>・ 習い事などの選択肢が少なく費用もかかる</li> </ul>

## (2)サービスの充実

### 【次の5年のコンセプト】

#### 妊娠出産育児期における切れ目のない子育て支援環境づくり

#### ➤ 施策の方向性

##### ①妊娠期からの切れ目のない支援

健診助成など経済的な支援、助産師相談などの専門職のサポート、配食・食堂など食の支援、妊娠から育児まで切れ目のない支援を提供していきます。加えて、家事支援や病児保育など仕事と家庭の両立支援、父親・母親どちらもが育児に関わりやすい環境づくりを進めていきます。

##### ②地域における心地よい子育て支援

あいさつ・声掛け・ボランティア・Bambi で一緒にイベントを楽しむなど、一人ひとりができる関わり方で、子育てをしている方・地域に暮らす方・支える専門職が関わりあう心地よい子育て環境づくりを進めていきます。

#### ➤ 目標・行動指標

目標値：家事支援サービスの登録数

設定理由など：令和7年度中から村独自で始めた取組で、これからニーズも高まると考えられるため目標として設定します。小学校入学前の子どもがいる世帯の3分の1に登録いただけるようにニーズ把握や使いやすい制度設計を進めていきます。

基準値	R8	R9	R10	R11	R12
1	4	8	12	16	20

資料：役場にて算出、単位：世帯、基準値：令和7年度末時点

#### ➤ 村民意見のまとめ

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育・病児保育があり助かる</li> <li>・役場や会館が放課後の居場所になっている</li> <li>・先生が子供のことをよく知ってくれている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園や遊具など、外で遊べる場所がない</li> <li>・休みの日や長期休暇に子供が暇を持て余す</li> <li>・専門的な療育などの選択肢が少ない</li> </ul>

## 2、多様な住まいの確保

### (1)住宅の確保

<b>【次の5年のコンセプト】</b>
<b>計画的な住宅整備</b>

#### ➤ 施策の方向性

##### ①村営住宅の整備

単身向け・ファミリー向けなどニーズを踏まえて住宅整備を行っていきます。

なお、整備にあたっては、既存住宅の更新・財源を考慮しつつ、長期的な視点のもと計画的に行うことを基本とします。

##### ②地区との連携

村内においても住宅や若年層の偏在は見られるため、地区の自主性を重んじつつ、各地区において移住者を受け入れるための住宅整備を進めていきます。

#### ➤ 目標・行動指標

目標値：村が主体となって整備する住宅数

設定理由など：住宅の整備が最も分かりやすく重要な指標となるため目標として設定します。なお、令和8年度中にニーズや今後の予測、予算等を踏まえて目標値を設定します。

R8	R9	R10	R11	R12
現況・ニーズ整理 目標値設定	目標に向けて取組実施			

#### ➤ 村民意見のまとめ

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家賃が安い（高いという人も）</li> <li>・村営住宅の優良候補地がある</li> <li>・移住者が住みやすい環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賃貸・売買ともに物件（住む家）がない</li> <li>・「単身者用の住宅」がない</li> <li>・家族で住む家、ちょうどいい家がない</li> </ul>

## (2)空き家利活用

### 【次の5年のコンセプト】

#### 空き家の有効活用

#### ➤ 施策の方向性

##### ①空き家管理法人の設立

これまでは役場が空き家情報の管理を行い、空き家の利活用や入居相談は個々に委ねる形をとっていましたが、村内事業者による空き家バンク管理を行うことで所有者と入居希望者の円滑なマッチングを図っていきます。

また、空き家を住まいだけでなく、事業用途の物件としてもとらえ、他自治体の先行事例を参考としながら活用方法の検討を進めていきます。

##### ②補助制度の拡充検討

空き家改修など国の制度活用や村独自の補助を引き続き行い、仏壇の取扱いなど利活用のネックとなっている事項への対策も検討していきます。

#### ➤ 目標・行動指標

目標値：空き家に関する補助金の活用件数

設定理由など：空き家活用のベースとなる改修や除却への補助金活用を目標として設定します。近年は年3件程度の実績で推移する中、補助制度の拡充などにより、活用件数の増加を目指していきます。

基準値	R8	R9	R10	R11	R12
3	3	4	4	4	4

資料：役場にて算出、単位：件、基準値：令和5～7年度平均件数

#### ➤ 村民意見のまとめ

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃墟が少なく目立たない</li> <li>・ 景観が保たれている</li> <li>・ 古民家を活用した店がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仏壇があって貸してもらえない</li> <li>・ 空き家の情報が少ない</li> <li>・ 売りたい人と借りたい人のマッチング不足</li> </ul>

### 3、生涯学習

#### (1)生涯学習の推進

##### 【次の5年のコンセプト】

小さな村でも色々できる・学べる環境づくり

##### ➤ 施策の方向性

##### ①あわくら会館の利活用

あわくら会館は、誰もが自由に活動でき、人がつながりやすい空間をもつ施設として建設し、多くの方に利用していただいています。これからも使いやすく・居心地の良い空間となるよう管理運営を行っていきます。

##### ②全世代に学び・発表の機会を提供

むらみっけ！文化祭を中心として、村で活動している人が発表・みんなで共有する場を引き続き作り続けるとともに、あわくら未来学からあわくら大学まで年齢を問わず学びの機会も提供していきます。

##### ③学びのコーディネート

村で活躍する人や体験の場、スポーツ・健康づくりの場など、学び（体験・活動も含む）の資源を洗い出してつなげることで、子どもから高齢者まで生涯を通した学びの機会を創出していきます。

##### ➤ 目標・行動指標

目標値：あわくら会館におけるイベント開催数

設定理由など：あわくら会館の利活用を中心として、特に個人やサークルにおける利活用を伸ばしていくことを想定しています。具体的には、現状1か月あたり約10回となっているのを計画期間中に12回程度を想定しています。

基準値	R8	R9	R10	R11	R12
120	123	126	129	132	135

資料：役場にて算出、数値：回数、基準値：令和6年度実績

##### ➤ 村民意見のまとめ

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>「あわくら図書館」がきれいで過ごしやすい</li> <li>「学び」を楽しむ人が多い</li> <li>講演会などが開催されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習い事やスポーツの選択肢が少ない</li> <li>世代間交流の機会が少ない</li> <li>特定の人しか参加していない</li> </ul>

## (2)健康づくり・スポーツ・文化振興

### 【次の5年のコンセプト】

子どもから大人まで、健康づくりと文化を楽しむ

#### ➤ 施策の方向性

##### ①生涯にわたる健康づくり

村ではこれまで、子どもと大人、健康づくりとスポーツというように、年代と分野で分けた形で取組を推進してきました。これからは、子どもから大人まで生涯にわたる健康づくりを支援していきます。そのために、楽しみながら体を動かすACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）など新しいアプローチも取り入れていきます。

##### ②文化を楽しむ・継承する

村民主体の活動に対して、活動や発表の場などベースとなる部分を支え、あわくら太鼓や獅子舞などの村の伝統を継承していくとともに、志戸坂峠など文化財の保存・整備・利活用を検討していきます。

また、子どもから大人まで自身の余暇の時間を文化・スポーツ活動で楽しむなど、生活を楽しむ活動を広げていきます。

#### ➤ 目標・行動指標

目標値：1週間の運動時間が420分以上（小学生・中学生）の割合

設定理由など：特に力を入れていく取組となる、子どもが体を動かす習慣づくりを把握できる指標のため目標として設定します。なお、目標としては、計画期間中に運動習慣のある子どもが半数以上となるように取組を進めていきます。

基準値	R8	R9	R10	R11	R12
33	37	40	43	47	50

資料：小中学生向けアンケート、単位：%、基準値：令和7年アンケート結果

#### ➤ 村民意見のまとめ

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館やグラウンドが無料で使える</li> <li>・祭りや獅子舞などの伝統行事がある</li> <li>・文化祭で村民の活動を知れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減で団体スポーツ（バレー等）ができない</li> <li>・祭りや伝統行事の担い手が減っている</li> </ul>